

やっちーと共に歩む

# 下村っ子



下村小学校だより 3月号

射水市立下村小学校

TEL 59-2310

E-mail: shimomura@tym.ed.jp



## 下村っ子の1年間の成長

～保護者の皆様、地域の皆様、一年間ご支援いただき、ありがとうございました～

3月17日(金) 令和4年度の卒業証書授与式を行いました。

マスクの着脱は個人の判断に任されるようになった日本ですが、射水市内の小中学校は

何らかの感染症対策を講じての式となりました。本校では児童に関しては保護者との相談を基本として、卒業生はマスクを外し、在校生は外す場面を限定して実施しました。式場へは3年生～5年生が参列し、1・2年生はランチルームで生配信される映像に合わせて同じ動きを行い、全校で15名の卒業生の晴れの門出をお祝いしました。



【卒業証書授与の様子】

小学校生活半分の3年間でコロナ禍での新しい生活様式で過ごし最後の一年間はより一層制約が厳しくなっていた中で、いつも、「何とか実現できないか」知恵を絞って最高学年として学校を引っ張ってくれた明るく前向きな素晴らしい6年生でした。中学校へ進学しても、自分のよさに自信をもって、成長していったほしいと願っています。

また、この1年間で1年生から5年生も大きく成長しました。下村っ子はどのように成長したのでしょうか。担任にインタビューしてこの一年を振り返ってみました。

- 1年生… 入学当初は小学校生活に慣れることで精一杯でしたが、今では自分たちで考え、よりよく工夫していこうとする姿がよく見られるようになり、たくましく成長しました。
- 2年生… 学級目標である粘り強く取り組んで、最後までやり抜く力が付き、達成感を味わうことができました。苦手なことにも、前向きに取り組む姿に大きな成長を感じます。
- 3年生… 対話的に学ぶことの楽しさを感じることができました。自分の考えを他の人に聞いてもらったり、友達の意見を聞いて自分が思いつかないような考えを教えてもらったりしました。
- 4年生… やるべきときに何をすべきかを考え、取り組むことができました。来年度は高学年、学校の皆さんに頼りにされるような存在になれるよう前向きな意識が高まってきました。
- 5年生… 学年のことだけでなく、下級生、学校全体のことを意識して活動できるようになりました。物事を考える際の判断基準が自分たちから全体へ広がってきているところが頼もしいです。
- 6年生… 自分や友達のよさに気付き、一人一人がよさを輝かせて学習や活動に取り組みました。仲間との絆を深め、15人が一致団結してたくさんのことをやり遂げた一年でした。



一人一人はもちろん、集団としての成長もとても嬉しく思っています。最後になりましたが、保護者の皆様、地域の皆様には今年度1年間、学校運営に多大なご理解とご協力をいただきました。本当にありがとうございました。令和5年度は、4月に新たに8名の新入生が「下村っ子」の仲間入りをし、創立150周年を迎えます。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします

校長 萩中 弘恵



地域の宝である下村っ子のために、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

子供たちの活動の様子をHPで紹介しています。ぜひご覧ください。

下村小学校ホームページ  
<http://wp-shimomura.imizu.ed.jp>

